

☆平成26年2月4日山脇学園社会入試問題2【歴史】文章一部改穴埋めプリント☆

()年に()がおこると、室町幕府はおとろえていきました。守護大名(戦国大名)とよばれる各地の武将が、自分の領国を広げるために、周りの守護大名とはげしく争いました。守護大名は()を制定し、()を整備して、()に努めました。

守護大名のひとりとなった織田信長は尾張に生まれ、()に駿河の()を桶狭間の戦いで破りました。()年の()では鉄砲隊の活躍により甲斐の()を破りました。全国統一の根拠地として、1576年には近江に壮大な天守閣を持つ安土城を築きました。また、楽市、楽座を行い、各地の()を廃止するなど、商工業の発展をはかりました。さらに、キリスト教を保護したため、スペインやポルトガルから宣教師や貿易船が来航しました。こうして織田信長は全国統一をすすめてきましたが、1582年、京都の()で家臣の()におそわれ、自害しました。

羽柴秀吉(豊臣秀吉)は()を()で破り、()では()を破り、織田信長の後継者をなりました。1583年には大阪城を築き、根拠地としました。()年には小田原の()、氏直親子らを降伏させるなどして、全国統一を完成させました。また、羽柴秀吉(豊臣秀吉)は1585年に朝廷から()に任じられ、翌1586年には()となりました。検地と刀狩を行い、さらには、中国(())を征服しようとして朝鮮に二度も出兵しました(1592年()、1597年())が、豊臣秀吉が病死し、実現しませんでした。

徳川家康は、豊臣秀吉の死後、()年の関ヶ原の戦いで西軍の()らを破り、全国支配の実権を握りました。1603年には江戸幕府を開き、1614年()の半年後の1615年()で主家であった豊臣家(豊臣秀頼)を滅ぼし、()という法律を制定して、徳川幕府にそむく者を処罰しました。死後は、栃木県の()に神としてまつられました。()は陽明門が特に有名です。徳川家康の孫の()は1635年に()をあらためて、参勤交代の制度を定めました。

江戸時代の社会には、支配者としての()を与えられた武士、百姓や町人など、さまざまな身分の人々がいました。そのうち、百姓は全人口の約()%をしめ、収穫の半分ぐらいを年貢として負担していました。有力な百姓が()、()、()などの村役人となって村を治めていました。